

シネマ203

北ぶらくり丁の小さな映画館

たまにはちょっと、映画でも



12月。明日の長さは、永遠と一日。

▼南米チリより：歴史より大きい記憶と記録『エターナルメモリー』『83歳のやさしいスパイ』▼〈再発見・Seijun Suzuki〉第二弾はエースのジョーが炸裂する『殺しの烙印』!! 1月は『けんかえれじい』▼14(土)~27(金) 2週限定『SUPER HAPPY FOREVER』▼ほか

入場料金 (基本料金)

一般：1,700円 / 大専：1,500円 / 小中高：1,000円

※ 当日入口にて現金のみ。各回上映10分前開場。全席自由席。受付順にご入場ください。

※ 特集上映など各種割引料金の設定あり。詳しくはHPやチラシにて。

最新スケジュール →



【アクセス】[北ぶらくり丁会館2F] 本町公園より徒歩1分
北ぶらくり丁と本町公園を南北につなぐ細い通りに
[北ぶらくり丁会館]の鉄看板アリ。奥の赤い階段を2階へ。



【駅から徒歩/バス】

和歌山市駅より徒歩10分/バス1~2分(800m)
和歌山駅より徒歩25分/バス5~9分(2km)

北ぶらくり丁会館 203号室

シネマ203

cinema203

12月の上映



記憶記録記憶記録

エターナルメモリー 殺しの烙印 83歳のやさしいスパイ
SUPER HAPPY FOREVER



和歌山市中ノ店北ノ丁22
北ぶらくり丁会館 203号室
090-8172-7074

cinema203.com



美しいから愛するのか、愛するから美しいのか。詩を、映画を、人生を愛する人々の暮らし。

南米チリより、女性監督マイテ・アルベルディの2本のアカデミー賞ノミネート作品を上映します。「小さな世界で起こる日常の物語を通して、もっと大きな社会を学べると思う」と語る若い彼女の独特なドキュメンタリーは、仕掛けが周到。カメラがなければ起こらなかった“出演者によるドラマの創作”がはっきりと映った覚悟の作品です。

チリは、1970年に民主的選挙により世界で初めて社会主義を選んだ国でありながら、3年後にはクーデターを起こしたピノチェト軍事独裁政権が誕生。20年近くも激しい市民弾圧に大勢が苦しんだ歴史を背負っています。やさしさとは、強さとは、そして映画とは。思いやりに溢れる3人の主人公を見ながら、新たな問いを抱きました。



『エターナルメモリー』

監督：マイテ・アルベルディ
配給：シンカ（2023年／85分）

著名なジャーナリストである夫と、国民的女優でありチリで最初の文化大臣となった妻。25年間連れ添った今、アルツハイマーと闘いながらも丁寧な暮らしを守り続ける、真実の愛の物語。



『83歳のやさしいスパイ』

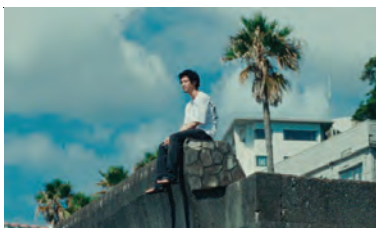
監督：マイテ・アルベルディ
配給：アンブラグド（2020年／89分）

不思議な求人に応募して選ばれたのは83歳のおじいさん、セルヒオ。人生初のスパイと張り切る彼を待ち受けていた任務は、老人ホームへの潜入だった!?

日本映画初！ ヴェネチア国際映画祭ヴェニス・デイズ部門オープニング作品

ある意味、シネマ203はじまっていらいの問題作。皆さまの反響を心待ちにしております。

“タイトルの響きよりももっと馬鹿馬鹿しく、格好良く、儚く、しかもこんなに恋や愛を感じるなんて。なんの変哲もない時間にみえて、「ああ…!」と思わず言葉を失うようなアクションから目を離せずにいると、ある瞬間、とてつもない多幸感と喪失感に同時に不意打ちされる。夜更けまで遊んだり早起きして海を見に行きたくなるような、他に二つとない傑作!”—— 三宅 唱（映画監督）



『SUPER HAPPY FOREVER』

監督：五十嵐耕平
出演：佐野弘樹、宮田佳典、山本奈衣瑠 ほか
配給：コピアボア・フィルム
（2024年／日本語／日本＝フランス映画／94分）

あのとき失くした赤い帽子。5年前に出会った、今は亡き妻…。青春期の終わりを迎えた人々の“奇跡のような幸福なひととき”。

『再発見“Seijun Suzuki”』第二弾は矢野龍渓！ 日活フィルム・ノワールの傑作を!!

新シリーズ〈再発見〉、11月はシニアの皆さんの「東京流れ者」大合唱がこだまする痛快な幕開けとなりました。鈴木清順監督が大和屋笠ら仲間たちと書き上げた脚本と、乾いた主題歌がシビれるハードボイルドな1本。ジム・ジャームッシュも虜にした日活最後の作品を美しい4K映像でお楽しみください。エースのジョーのガンアクションに対抗して(!?)、本年度アカデミー賞国際長編映画賞日本代表＝もう1本の日活映画『Cloud クラウド』も和歌山再上映いたします。

お正月は、シリーズ締めくりに高橋英樹主演『けんかえれじい』（66）で良いお年を!!



『殺しの烙印』4Kデジタル復元版』

監督：鈴木清順 | 脚本：具流八郎 | 音楽：山本直純
主題歌：「殺しのブルース」
作詩／具流八郎 作曲／楠井景久 歌／大和屋笠
キャスト：矢野龍渓、南原宏治、玉川伊佐男、真理アンヌ
デジタル復元：IMAGICA エンタテインメントメディアサービス
配給：日活（1967年／日本映画／91分）

いざ、2025年へ。年末年始の大型連休がやってくる。

イタリア映画『夜の外側』、面白かったですね！6話の6時間だからこそその匠の技を満喫しました。そして匠といえば、『Chime』です。皆さん怖すぎて薄笑いに……若い方からは「初めての黒沢清」という声もあり、それならば、ということで、今年見逃したくない話題作『Cloud クラウド』を和歌山市で3館目に再映します。「もう一度見たい」という常連の方々にお応えしての、初のリクエスト上映。鈴木清順監督と比べてお楽しみください。

『枯れ葉』から早や1年……新年はお待ちかね、『キノ・ライカ 小さな町の映画館』が登場します。カウリスマキ監督から愛する地元への手づくりの贈りもの。2025年も元旦から上映します。

北欧といえば、和歌山が誇るECMアーティスト、田中鮎美さんです。ノルウェー仕込みの美しい音楽を思い出しながら、『ECMレコード サウンズ&サイ

レンス』をイオンシネマに続き再映します。55年の歴史の中で、日本人アーティストはたった3人。世界的レーベルの音作りの秘密の中に、創設者アイヒャーが彼女を必要とした理由が見えます。

年末年始の長いお休みを利用して、映画の可能性を押し広げた2人の作品をじっくりとご覧ください。

『至福のレストラン』でおなじみフレデリック・ワイズマン監督は、大作『大学』（念願の上映です!!）に加えて、少し刺激的の強いデビュー作『チチカット・フォーリーズ』を12月末より2回ずつの限定上映。

それから佐藤真監督は、1～2月の特集上映『暮らしの思想 佐藤真 RETROSPECTIVE』に先立ち、その独自のスタイルが際立つ『SELF AND OTHERS』を12月末にプレ上映いたします。乞御期待。

（北ぶらの記録係より）



12/8(日)～15(日)は『空族-KUZOKU-和歌山映画祭』。会場はご近所、本町文化堂です！